

高3生コース

目標へ向かってまっしぐら!! 入試へのファイナルステージ

指導方針

現役合格を実現する最大のポイントは、「いかに効率良く最大限の効果を上げるか」です。トフルゼミナールでは、このようなコンセプトのもと、長年培ってきたノウハウで抜群の合格実績をあげてきました。そのノウハウの結晶が、少人数クラスによるコミュニケーションを重視した「ゼミスタイル」なのです。

授業では、どんどん生徒を当てていきます。生徒はそれに対して発言・質問を返すという双方向的な授業が指導の中心となります。また、各教科とも出欠をとり、生徒一人ひとりに万遍なく目が届くクラス運営を行っています。高3コースでは、志望・レベルにあわせコースを選ぶことができ、授業にプラスして予習・復習をきちんと消化するだけで、志望校合格を実現できます。



音声教材を上手に利用するのが英語上達のカギ

必修の英語読解教材には音声がつきます



校舎でダウンロードできます

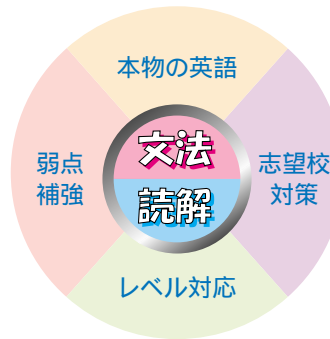
トフルゼミナールでは、主な読解教材に音声が付属しています。言語の修得には、音声を耳から聞くことによって発声の定着を図り、ネイティブといっしょに音読することで内容をイメージできるようになることが必須です。これはトフルゼミナールが単なる「知識としての英語」だけに留まらず「言語としての英語」にまで深く踏み込んで授業カリキュラムを作成しているためです。

実際に近年の大学入試に目を向けると、センター試験はもちろん、東京外大、上智（英語）2次試験、ICU、青山学院（英米文B方式・国際政治経済B方式）、早稲田国際教養学部など、外国語教育を重視している大学では入試にリスニングを課しています。これらを考えてみると、時代の流れは「知識としての英語」から、まさにトフルゼミナールが長年にわたり提唱してきた「本物の英語」「言語としての英語」「教養としての英語」に向かっていることがわかります。

英語音声は本物の英語を身につける強力な手助けになります。また授業の中でも適宜使用していきます。「知識と音声」を融合したトフルゼミナールの授業をぜひ体験してください。

カリキュラムの特徴

トフルゼミナールの高3生カリキュラムは、すべてのコースにおいて「英語読解科目」と「英文法・語法」が必修科目になっています。この必修科目で柱となる英語力を養成し、大学ごとの入試の特徴や弱点・補強ポイントにより選択科目をコーディネートして、一人ひとりの進学目標にぴったりのカリキュラムを構成します。



e-Plusコース

忙しい受験生にとって、これからの学習を効率的に行うことが否の大きなポイントとなります。トフルゼミナールでは、自宅や個別指導室でWeb/Video講座を利用して、最低限の通学でも本科生と同様のプロ講師の授業や添削が受けられます。さらにカウンセリングや進路アドバイスで、集中力とモチベーションを高めた合格対策を行います。
*17ページもご覧ください。



実力テスト

(7月・9月実施)

英語の総合的な力を分野別に測るテストです。「読解」「文法」「語彙」「作文」「リスニング」の分野を含み、各自の長所や短所の明確化により、得点力を上げたり弱点を補強するための目安になります。

夏期統一テスト

(8月実施)

受験生全員を対象とした「学習進捗度」を測るテストです。春学期の授業は基礎の徹底理解を目的にしていますから、これらの内容について、どの程度理解しているかをチェックするための前半の総決算になります。

クラス編成

高3クラスは、入学時と秋学期開始時の年2回クラス編成が行われます。選抜クラスへの入学を希望をする場合には、当校の選抜試験の結果・模試の成績・高校の成績・英検などの資格によって認定されます。秋学期開始時のクラス編成は、春学期の試験の成績によって行われます。成績が伸びてくれば秋学期から選抜クラスで勉強することも可能になります。

直前テストゼミ One Day模試

冬期講習以降、受験直前まで問題演習で実践練習を行います。

直前テストゼミ 大学の傾向別にテスト55分+解説授業45分で構成され、問題解法のポイントを指導します。

One Day模試 大学別の予想問題模試を受けたあと対策講義を行います。1日完結型スタイルなので最終チェックとして活用します。

受験期の講師待機

2月から本格的に一般入試がスタートします。頑張ってきた受験生とはいえ、最後の最後まで不安がつきものです。そんな時期にいつもの先生に質問ができたり、本試験の答え合わせをもらえるよう講師が待機しています。トフルゼミナールは最後まで受験生に伴走していきます。

<p>3 March</p> <p>春期講習会開講</p>	<p>4 April</p> <p>春学期授業スタート 入学オリエンテーション</p> <p>学習目標 予習・授業・復習の合理的な学習の流れを作ります。入試に必要な科目のすべてについてこの時期からスタートしておくことが大切です。</p>	<p>5 May</p> <p>第1回歴史定期テスト</p> <p>進学カウンセリング</p> <p>進学指導スタッフによるカウンセリングもスタートします。トフルゼミナールでの受験生活や勉強方法、志望校決定など、あらゆる面でアドバイスをいたします。さらに、生活面でのさまざまな相談も受けつけます。</p>	<p>6 June</p> <p>カウンセリング月間</p> <p>スタディカウンセリング</p> <p>授業開始直後にスタディ・カウンセリングが開始されます。授業がスタートしてしばらくの間は、予習・復習方法などで戸惑いもあるでしょう。スタートで大きくつまづいてしまったり、後々の成績の伸び悩みの原因にもなりかねません。講師によるスタディ・カウンセリングによって最適な学習方法が示されます。</p>	<p>7 July</p> <p>夏期講習会開講 第2回歴史定期テスト 第1回実力テスト</p> <p>学習目標 基礎学力をつける時期です。弱点を身につけ、克服し、苦手意識を払いましょう。春学期テストの復習はしっかりと。目標大学の傾向にも目を向けてみましょう。</p>	<p>8 August</p> <p>秋学期クラス編成発表 夏期統一テスト</p>	<p>9 September</p> <p>秋学期授業スタート</p> <p>学習目標 春学期に身につけた知識を土台として、さまざまな問題形式の解法を学びます。第2志望の大学・学部の入試傾向を見据えながら応用力に磨きをかけていきます。</p>	<p>10 October</p> <p>第3回歴史定期テスト</p> <p>大学入試説明会 カウンセリング月間</p> <p>志望校決定カウンセリング</p> <p>校内模試・公開模試などの成績をもとに、受験校の選定を中心としたアドバイスを示されます。年間を通じてもっとも大切な時期です。本番まで効率よく勉強すれば、まだまだ得点力のアップが図れます。</p>	<p>11 November</p> <p>第2回実力テスト</p> <p>志望校決定カウンセリングスタート</p>	<p>12 December</p> <p>冬期講習会開講 第4回歴史定期テスト</p> <p>学習目標 総仕上げの時期。大学別「狙うゼミ」などで入試傾向に合わせた対策を行うとともに、足りない部分を補うチャンスです。</p>	<p>1 January</p> <p>直前テストゼミ開講</p> <p>学習目標 入試本番の実戦演習を行う時期。効率的な時間配分や得点力アップのための解法を身につけます。さらに知識の総整理をすることで入試本番での自信を付けます。</p>	<p>2 February</p> <p>入試本番</p>
-------------------------------	--	--	---	--	---	---	--	--	--	---	-------------------------------